

## 上水南町二丁目に新設する公園整備に関する説明会 主な質問と回答

開催日時：令和5年5月21日（日） 午前10時から午前11時30分まで

場 所：上水南公民館 ホール

来場者数：26名

### <質疑応答>

Q1 防災倉庫や災害井戸は設置しないのか。

A1 防災倉庫は、整備完了後、自治会で設置することが可能である。災害井戸は、公園整備の中で設置する予定はないが、考える会の提案により、将来的に井戸が設置できるスペースは確保する。

Q2 防災機能として公園に非常用の水源を確保しないのか。

A2 防災機能としては、かまどベンチを設置する。この場所に公園ができたことにより生まれたスペースも防災に寄与する。

災害用井戸を公園内に設置する予定はないが、市としては、防災兼用農業用井戸の設置に支援をしており、今回の公園整備においては井戸を整備するに至らなかった。

Q3 顕彰碑は子どもの安全に配慮されているか。

A3 今回は寄附者の遺言を尊重して、顕彰碑を設置することとなった。目立たない高さであると危険も考えられるが、ある程度の高さもあり、すぐに危険を及ぼすものとは考えていない。今後、公園を管理していく中で、できる範囲の対策をしていく。

Q4 公園のルールは地域住民で決めた方が利用稼働率は高まるのではないのか。

A4 一定のルールは市で定める必要があると考える。500㎡以上の公園は、柔らかいボールで、コントロールできる程度のボール遊びは可能である等のルールがあり、基本的なルールは案内板の中で示していく。また、公園等アダプト制度の活用も考えている。整備完了後に不具合が見受けられる場合は、問合せをいただきたい。

Q5 特定の団体にルール作りを任せるような考えはあるか。

A5 地域全体の合意形成を図ることが必要となるが、現実としては難しいと考える。今後、そのような動きがあれば、合意形成に沿った利用形態も考えられる。

Q6 照明は具体的に何ルクスとなり、どのような配置となるか。また、自動点灯となるか。

A6 照明は、大きく照らす公園灯を3基、西側通路の狭い箇所にフットライトを3基設置する予定である。通路については、入口に1基、中央部に1基、狭い通路から公園に入るところに1基設置を予定している。明るさの基準では4m先の行動が視認できる明るさと決まっており、その基準で考えると、3ルクス以上の明るさを全体的に確保している。また、自動点滅で考えており、暗くなれば自動的に点灯する。

- Q 7 佐川道場の面影を残せないか。古武道が注目されており、インターネットなどを使ってPRできれば、世界中から訪れる場所となるのではないか。植栽については小平市に著名な有識者もいるので、小平らしい植物を植えてほしい。
- A 7 今回の事業は、地域ならではの資源を活用した観光まちづくり事業に対して交付される、東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業費補助金を活用している。そのため、ホームページ等で効果的に公園の周知を図っていきたい。また、ご来場の皆様にも、周りの方に周知していただくと幸いである。  
植栽の内容については、可能な限り整備費を抑える必要があったことから、東京都の苗木生産供給事業において、無償で供給される樹種の範囲とした。その範囲で、小平市の花であるツツジも選定している。
- Q 8 公園の東西を抜ける近道として使用される懸念がある。園路はどのように整備されるのか。バイク等が乗車したまま通り抜けするようなことのないようにしてほしい。
- A 8 出入口は、西側に1か所、東側に2か所としている。自転車の通行は押しながら出入りすることが前提となっているが、車止めは設置する。しかし、バリアフリーの観点から、車いすが通れる程度の幅は確保する必要がある。なるべく、乗車したまま、出入りしない対策をとる予定としている。
- Q 9 かまどベンチは通常時は火を使用しないとの理解でよいか。
- A 9 基本的に公園内の火の使用は禁止しているが、地域の方が防災訓練を行いたいと申し出があった場合には、近隣の方にご理解いただいた上で、火の使用を許可することがある。
- Q 10 目隠しフェンスを1.8mとした理由を教えてください。1.8mが標準なのか。
- A 10 人の視線で隣地に目が届きにくい高さを踏まえて1.8mとした。一般的な目隠しフェンスの高さは1.8mである。
- Q 11 公園内に自転車を放置して国分寺駅に向かう方がいるのではないかと懸念する。自転車置き場は設けるのか。
- A 11 自転車駐車場は設けていないが、公園内に長時間放置されてしまう事例はある。その際は、自転車放置の札を付けて、一定期間放置されていれば市で撤去する。
- Q 12 自転車駐車場をなぜ設けないのか。
- A 12 多くの既存公園では、自転車駐車場を設置している事例は少ない。公園の広さを踏まえても、自転車駐車場は設けず、公園内に駐車する形でよいと考える。
- Q 13 木製のベンチは腐食することがある。雨風に強く、座りたくなるベンチを検討してほしい。
- A 13 屋根付きベンチもあるが、維持管理の観点から小平市での設置例は非常に少ない。また、プラスチック合成樹脂を使ったベンチもある。今後の維持管理を見据えて検討したい。

Q 1 4 クラウドファンディング等で相当な寄附があったが市からの支出はないのか。

A 1 4 公園整備の財源は、遺贈された現金、補助金、土地の売却益、ふるさと納税による寄附金で確保し、整備費用が財源を超えないように計画することとしてきた。しかし、工事を進めて行く中で問題・課題が発覚し、費用が不足するような場合は、市の予算で対応する必要があると考えている。

また、完成後の公園は市が維持管理していくこととなり、市として必要な支出をすることになる。公園は作るだけが目的ではなく、その後、皆さまにどう使われていくかも重要であると考えている。今後の維持管理にあたり、市としてよりよい公園にしていきたいと考えている。

Q 1 5 池はそのまま残るのか。水が溜まって蚊が発生するのではないかと懸念している。

A 1 5 池は水が溜まる形状とはなっていない。池の底部は土となるため、水が発生しても地面に浸透していくと考えている。また、公園内の定期的な清掃も入ることになる。